

## 情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成17年12月分)

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種<br>(産業分類細分類相当) | 組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)  |
|----------|-----------------------|---|
| 食料品      | 調味材料製造業               | 12月度の醤油出荷量は、前年同月比やや増加した。累計(平成17年1月～11月)でも前年同期の水準を2ヶ月連続で上回った。  |
|          | パン・菓子製造業              | 正月菓子の「福梅」は石川県菓子工業組合の登録商標なのだが、組合員外の販売が見られ、話し合いをする事になった。  |
| 繊維・同製品   | その他の織物業               | 定番品の動きが好調。師走の寒波も影響してか追加注文の動きも聞こえてきた。相変わらず小ロット・短納期の対応に忙しさが増しているが、平成18年の受注動向が見えてこない。末端ユーザー、商社、生産工場のコンセプトの共有が望ましいが、一部を除き一方通行となっている。従来からのテーマであるが・・・。  |
|          | 織物業                   | 絹分野では海外激安製品の圧迫が更に強まり、多品種・極少ロットの発注に終始し、中国元の切り上げも原材料の生糸だけが高騰し、過去の幾多の困難より増して厳しい状況で推移している。合繊分野では創造性・企画力を備え、少ロット・短納期に対応し、ブランド品等の厳しい品質要求に応えられるインテリア・カーテンやマイクロ繊維など差別化織物分野で受注を確保している商品、企業も見受けられるが、これらに対応できない企業はまったく仕事がなくなる非常な時代となった。高品質対応と強い低コスト要請や開発費の増大、圧迫により採算性は厳しい。 |
|          | ねん糸製造業                | 高騰する原燃料価格をはじめ為替相場のコストアップの高騰のおおりの受け、それに見合った価格転嫁ができない環境である。原糸メーカーは、もっと素材開発に力を投入すべきである。今後、繊維産業が生き残る道は機能性と環境並びに生活様式を意識した素材の開発力がキーポイントとなるのではないかと。ここでこそ、合繊メーカーの開発力に期待したい。   |
|          | その他の織物業               | 12月度は、昨年12月に比べ売上は減少となった。この1年を振り返ると、平成17年度は我々の業界にとっては随分と厳しい年であった。売上の大幅な減少のみならず、原油価格の大幅上昇により、原糸仕入価格が上昇し、収益構造が大幅に悪化した年であった。  |
| 木材・木製品   | 製材業、木製品製造業            | 原木の単価の安値により素材生産業者苦しい。大雪による仕事量減少。大雪による木材の入荷量減る。  |
|          | 製材業、木製品製造業            | 12月度は、雪の所為もあり多少の影響は出た。毎回報告している通り、受給バランスの崩れによる原価高にもかかわらず、値上げが出来ない厳しい状況は依然変わらず加えて、差別化を出す為の努力、内容の変化等各業者にとって今後を決める大事な時期にいるような気がしています。   |
| 窯業・土石製品  | 砕石製造業                 | 12月分の組合取扱い出荷量は対前年同月比生コン向け30.1%減、アスコン向け43.7%減、全体量では32.6%減と大きく減少した。需要期にまとまった降雪が大きく影響した。4月～12月期の全出荷トータルでは対前年同期と比較するとアスファルト向け出荷が20.9%減と落ち込み、全体量でも5.8%減少した。1月も雪の影響で出荷が伸びず、非常に厳しい状況である。   |
|          | 陶磁器・同関連製品製造業          | 売上の低迷は依然として続いているが、意匠権の保護や商標登録等環境整備に力を注いでいる。1月中旬の名古屋での新作発表を皮切りにパリでのメゾン&オブジェ、東京での工芸フェア、テーブルウェアフェスティバル等出展に向け準備を進めている。  |
|          | 生コンクリート製造業            | 県内の生コンクリートの出荷状況は、17年12月末現在、前年同月比68.4%と大変大きなマイナスの出荷量となった。12月の地区状況は、羽咋・鹿島地区のみがプラスとなったが、その他の地区(金沢、南加賀、鶴来・白峰、七尾、能登)は全てマイナスとなった。県全体の4月～12月までの累計では、全ての地区でマイナスとなり、厳しい状況で推移している。この原因は、建設業の不況に加え大雪が早く来た事が影響しているものと思われる。  |
|          | 粘土かわら製造業              | 12月中旬頃より雪が降り続き大幅に売上が減少する。昨年同月比約40%減少。   |
| 鉄鋼・金属    | 一般機械器具製造業             | 前年度比30%増。このような状況がまだ続いている感が致します。   |
|          | 非鉄金属・同合金圧延業           | 前月と同様、特に変化は認められない。  |
|          | 鉄素形材製造業               | 今年は、鑄造製品の値上げ運動がユーザに理解され、それなりに値上げが認められてきた。しかし、鑄造諸原料の値上がりで企業経営は厳しいものがあつた。一方、受注は比較的活発で、工作機械、建設機械、産業機械等と生産量は前年対比10%を超える状況であった。ただ、生産方法の相違により受注に企業格差が見られた。今後もこのような状況は見られるものと思われるので、企業の特長を活かした、また新しい技術の導入を検討すべきではなからうか。とにあれ、比較的順調に推移した1年であった。                          |

情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成17年12月分)

|         |                  |   |
|---------|------------------|---|
|         | 機械器具の生産          | 従業員不足から時間外労働が続いている。   |
| 一般機器    | 機械、機械器具の製造又は加工修理 | 建設機械・産業機械（K社関連）の好調さを反映して親会社ともども下請企業も建物・機械設備の新規更新が手取川から南の地区で活発である。金沢地区でも先頃、K社より金沢港大浜地区の大型建機の需要拡大（2010年まで続くとは社長談）を反映、金沢地区での生産の可能性もあり、自動車産業の繁忙を受けての工作機械の好調さともあいまって今後が期待される。早期着工並びに周辺環境整備に関係機関への要望をせつをお願いしたい。 |
|         | 繊維機械製造業          | 繊維機械向けは少し落ち込んでいるが、工作用機器向けは好調が続いている。   |
|         | プレス、工作機械         | 工作機械業界全体は大きな変化も無く依然として好調であります。さらに日工会発表によりますと本年の生産見通しは当初よりさらに上方修正をし、さらにK社、T社の好調により当組合企業も大変忙しい状態が現在も継続致して降ります。  |
|         | 機械器具及び其の他金属製品の製造 | K社関連、自動車関連、電子機器関連企業を中心に順調な歩みを続けていますが、他方、原材料が高止まりの状況にありますので、今後この流れに乗り続ける為の製品開発が強く求められている状況である。   |
| その他の製造業 | 金属、機械器具の製造       | 納期に追われて忙しい中で年を越すことになった。高レベルでの安定した操業を続けており、設備もフル稼働の状態であろう。しかも、これら設備の大半は償却済みであろうから収益も相当良い状態であろうと思われる。   |
|         | 漆器製造業            | 12月も年末商品の大口注文を受注できたメーカーや量販店向けの一部メーカー以外は出荷額が減少したところが多く産地全体としては前年対比で7~8%下回る売上額となった模様である。大雪の影響で年末商戦への出荷対応が心配されたが、チャーター便などにより大きな混乱もなく推移することができた。  |

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種（産業分類細分類相当）   | 組合及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）   |
|----------|---------------------|--|
| 卸売業      | 繊維品卸売業              | 絹織物に関しては、原材料が高騰したにもかかわらず、売上が上昇していないということは、単価アップがされていないか、数量が減少していることにほかならない。株式、不動産の上昇を反映して、購買力が高くなっているが、繊維はまだかなり出遅れているようである。  |
|          | 農畜産物・水産物卸売業         | 昨年の11月には売上が前年比やや上回って下げ止まりが期待されていたが、この12月には又大幅な減少となり、相変わらず減少傾向が続くかが懸念されます。  |
|          | 一般機械器具卸売業           | 12月度は、前年割れでした。住宅需要も11月迄で予想に反しました。景気回復感も疑いたくなる様な状況です。半ばごろの寒波による雪も影響して現場の進み具合が停滞している事も原因かもしれません。暖房機などは量販店で販売されることがほとんどで、電材ルートでの販売増にはつながりませんでした。今年の1月2月の寒波による雪の状況によっては、来年度もかなり苦戦を余儀なくされそうです。                          |
| 小売業      | 燃料小売業               | ガソリンでは安値量販店で値下競争が激化、月中4~5円幅で乱高下した。月初の寒波到来でタイヤ交換の人員がフル回転。灯油の需要が急増したが時化のため運搬船が着岸できず製品に出荷規制が実施されたり逼迫感があった。フリー客から灯油の宅配依頼が続出するも製品の逼迫と道路状況から判断し拒絶も止むを得ない状況であった。  |
|          | 機械器具小売業             | 12月度は、家電業界全体では液晶・PDPテレビ、DVD等のデジタル家電品や、早期の寒波到来による暖房器具が好調であったが、地域店の売れ行きは前年並みに留まった。液晶・PDPテレビの価格下落が大きく影響し、台数は売れても金額伸びが稼げず、加えて売れ筋商品の品不足も影響が大きかった。また、昨年まで各社で製造していた暖房機器を製造中止したメーカーも多く、折角の早期寒波到来を生かせなかった。                  |
|          | 野菜・果実小売業            | 雪等の影響により商品の入荷量も減少し、価格についても年末にかけて高くなってきた。また、県外資本のスーパー、量販店の進出により売上高も減少してきた。  |
|          | 男子服小売業<br>婦人・子供服小売業 | 緩やかな景気の回復の兆しが見えているとのことであるが、地域の衣料品小売業は前年に引き続き、気温の低下及び想定外の積雪があり冬物衣料は順調に売上を確保した（前年同月比109.5%）。但し、寒さの効果で12月後半より一部商品の品不足が見られた。   |
|          | 鮮魚小売業               | 12月に入り、例年ではなかった大雪があったり、気象状況が悪化し出漁が出来ない日が多く、輸送の延着や入荷量が少ない日が多かった。カニについても解禁日の近辺はそこそこの入荷があったが、大時化による出漁不可により超高値となったり底曳物が入荷しない日が多かった。但し、ふくらぎ、がんど、はたはた等は入荷が多かったので安値にて推移。全般的に入荷量の少なさから高含みにて月末を迎えた。年末となり慌ただしさだけは例年並みとなっている。 |

情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成17年12月分)

|                  |                     |  |
|------------------|---------------------|--|
| 非<br>製<br>造<br>業 | 他に分類されない<br>その他の小売業 | 12月中旬までは好成績で順調であったが、大雪になり観光客は減少した。マスコミ各社により風評災害とも言える。  |
|                  | 百貨店・総合スーパー          | 12月の売上は予算費90.4%、前年比94.8%で前年を下回った。大きな原因として、12月にはまれな大雪に伴う来店客の減少。大雪の降り始めより10日間の売上は前年に比べ2割減少であった。クリスマス期間(12/23~25)は前年比119.2%、年末(12/29~31)は前年比94.4%であった。部門別では、ファッション呉服95.8%、服飾貴金属92.7%、生活雑貨95.7%、食品89.5%、飲食102.3%、サービス93.9%であった。食品が数値上で低かったのは、退店店舗の影響で実質は100%であった。  |
|                  | 米穀類小売業              | 今年産米は、14年度以来3年ぶりの豊作となった。昨年産との単純比較では約34万トンの生産増となり、産地銘柄により価格差が出ている(1物4価)。販売面でのライバルは量販店だったが今年は生産者がライバルである。豊作である今年産は気温上昇とともに処分売りが出て、今後下げのパターンも予想される。販売店では付加価値を与える無洗米の販売取組みなど知恵を絞って難局を乗り越えたい。   |
|                  | 近江町市場               | 中旬の降雪に伴うホテル、旅館等のキャンセルの為、売上減。年末の来街者の増が見受けられたが、月間では平年並不変。  |
|                  | 商店街                 | 尾張町<br>予想外の12月大雪。こころの準備が出来ないうちの雪は、生活を初めとして経済活動まで大きな障害を発生させました。仕入れや納品にまで影響が出て、日々の雪かきでも追いつかない雪の壁は営業活動まで制限される有様。まず雪を何とかしなければ何にも出来ない。そうこうする内に雪による倒壊まで起こり、一人喜ぶのはスリッパ事故で大忙しの車修理工場と直し物が多発して大回転の大工かと思うほどでした。それも十分に動き回れたらたらの話で、実際は気は焦るものの身動きもとれず、新潟の大停電と同じく、大停滞の日々が続いたことはご存知の通りです。売掛金というか受注は発生するものの、売上に繋げるほどに行動できないというもどかしい月であった。近年稀にみるとまどいの月でした。 |
|                  | 旅館、ホテル              | 12月末の日本海側寒波による大雪に伴い予約客のキャンセルが各施設で相次ぎ当初昨年同期より弱冠増加を見込まれていたが横ばい状態となっている。  |
|                  | 旅館、ホテル              | 降雪量による雪害風評が出ており、必要以上に避けられている。  |
|                  | 自動車整備業              | 継続検査実績車両数は、前年同月比9.3%減、前月比22.5%減。新規検査状況は前年同月比17.7%減、前月比23.5%減で推移している。   |
|                  | サービス業               | 旅館、ホテル<br>12月中旬後の大雪による幹線交通の麻痺は、当日及び直近のキャンセルが大きかった。今後の雪に対する悪いイメージが心配される。昨年は愛知万博の影響は大きかったものの、2館の開業によって温泉全体の宿泊人員及び総売上は増加にある。しかし、一人当たりの消費額は下落傾向にある。景気は回復傾向といわれるもののレジャーの多様化等によって旅行人口は減少傾向にある。また、温泉地における宿泊産業は供給過剰による過当競争が生じて必要以上の営業経費の加重になっている。更に、施設の老朽化等が懸念される。こうした現況から、その土地ならではの個性化、地域づくり、旅館づくりを大事にした社会の諸情勢に揺るぐことのない安定した地域づくりが必至である。         |
|                  | 建設業                 | 一般土木建築工事業  |
| 鉄骨・鉄筋工事業         |                     | 稼働率は90%。企業間、地域において格差があります。単価は依然指値で低い状態である。1月も現状が続くものと思われる。   |
| 板金・金物工事業         |                     | 新築物件は増加の傾向である。景気も次第に上昇傾向にあるが、十二月は初月に記録的な大雪に見舞われ稼働率が下落しつつある。零細企業が多く、天災が4~6日続くこと資金繰りに困るのが現実である。それが収益の悪化につながる。  |
| 管工事業             |                     | 平成17年4~11月までのガス供給工事件数は前年に比べ20.3%増、給水装置工事件数は1.4%減となった。その他として一般個人住宅建設が横並びでアパート等の建設が減少している。   |
| 運輸業              | 一般貨物自動車運送業          | 12月は軽油価格が前月比50銭~1円程度値下げされたが、1月には再度2円以上の値上げの兆候有り、このまま高値どまりか運賃転嫁が進まず経営が危惧される。運送業界ではいまだに景気上昇の実感はない。   |
|                  | 乗用旅客自動車運送業          | タクシー業界は制度改正を求め動きとサービス追及を行う二極化傾向の強まる中で、金沢の繁華街(片町を中心に)の順番待ち空車タクシーを排除してほしいとの地元の要望が強く、警察も違法駐車取締強化を実施、年末には数十台摘発となった。乗務員にとってはまさに死活問題となり厳しい正月を迎えることとなった。又燃料高騰と年末寒波が追い打ちをかけ、会社では車両運用もままならない状況の一部で見られ、正にこの一年悪戦苦闘で締めくくった。  |
|                  | 一般貨物自動車運送業          | 12月は貨物量が昨年比多少増加していたが思わぬ降雪で輸送に時間がかかり車輛のやりくりに難儀し、設備操業度は低下した。大手の運送業者では貨物量の制限をしているところがあり、我々中小業者へ流れてくるものもあつた。折角の顧客獲得チャンスではあつたが残念ながら対応できなかった。  |

情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成17年12月分)

行政庁・中央会に対する要望事項

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種           | 行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等  |
|----------|------------------|---|
| 一般機器     | 機械、機械器具の製造又は加工修理 | 商工中金の民営化が決定した。商工中金と協同組合、並びに傘下組合員との関係（金融面など）が今後どうなるのか？私ども協同組合自身が今後、どうかかわっていくのか？行けるのか？早急な指針（ガイドライン）をお願いしたいし、またご指導もお願いしたい。 |
| 小売業      | 燃料小売業            | 受益者負担として徴収した道路特定財源を本来の目的に使用せずに一般財源化、使途拡大や環境税への転用には断固反対。   |
|          |                  |   |